

牧山の松明行事

たいまつ



日吉町

の境内で行われます。北山から丹波にかけて広く行われていた万灯笼と愛宕信仰が習合したもので、多くの人が集い、集落は1年で一番賑やかな日になります。

牧山の松明行事は、毎年8月24日に日吉町中世木の西牧山にある普門院

松明は、三束の松明を扇状に組み立てた大松明と松割木を束ねた添松明、各戸が持参した小松明が境内を流れる小川沿いに並びます。午後8時、すべての松明に点火され、伝統の灯りがやさしく照らす中、人々は過ぎし日に感謝し、来る1年の無事を願います。

園部町

春日神社の秋祭り

園部町の上木崎町、河原町、木崎町各区の氏神である春日神社では、お旅所から神社まで往復3.5キロメートルを氏子が1トンもある神輿を担ぎます。途中で神社の神事を行い、約60人が掛け声も勇ましく3時間かけて各区を巡行する勇壮な秋祭りです。



南丹市秋のお祭り

美山町

川上神社のからす田楽

檜原の氏神になっている川上神社には「からす田楽」という田楽踊が伝わっています。氏子9人によって奉納される踊りはピンザサラ4人、太鼓4人、笛1人によって構成され、ピンザサラ役の新人りが「カア、カア」と、からすの仕草をするところから、この名前がついたといわれています。美山町内でも田楽が伝えら



れているのはここだけで、府下的にみても貴重な民俗文化財です。

八木町

春日神社の祭り



承平5年(935年)、奈良より藤原氏の連枝の人々により勧請され、700余戸の鎮守と崇敬保持されています。正月の元日祭で安穩繁栄を、4月の祈年祭で農工商業の進歩繁栄を、さらに子供神輿二輿を巡行、10月の例祭で、今八木に住める喜びを感謝し、変わらぬご加護を祈り神幸渡御(神輿巡行)を仕えます。11月は新嘗祭で収穫に感謝します。

12月定例会の予定

- 4日(火)本会議 (開会、議案提案説明)
- 10日(月)本会議 (一般質問)
- 11日(火)本会議 (一般質問)
- 12日(水)本会議 (一般質問)
- 21日(金)本会議 (採決、閉会)

※11月26日(月)午後5時までに提出された請願・陳情等は12月定例会で取り扱われます。
※会議時間はいずれも午前10時からの予定です。この日程については予定であり、予告なく変更となる場合があります。

編集後記

ことのほか暑かった今年の夏でしたが、秋の深まりの中でふと記憶がよみがえります。季節の移ろいは着実です。

新生「南丹市」は、早くもこの12月で丸2年を迎えます。取り巻く環境はこれまた着実に、加えて冷徹にその移ろいを加速させます。議会も、その動きと早い変化にしっかりと対応し、常に検証を加えなければなりません。この「たより」で、その「移ろい」を伝えられたら...と願っています。